

1-4. ダムの効果と影響

(1) ダム補給による効果と実態

効果

・ケース :

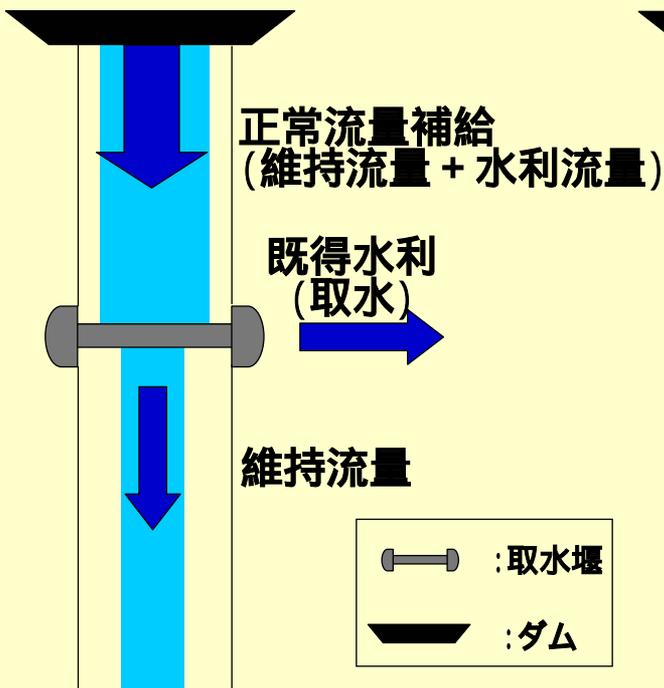
計画とする湧水において、ダムからの補給により、維持流量の確保及び水利流量の安定した取水が可能。

・ケース :

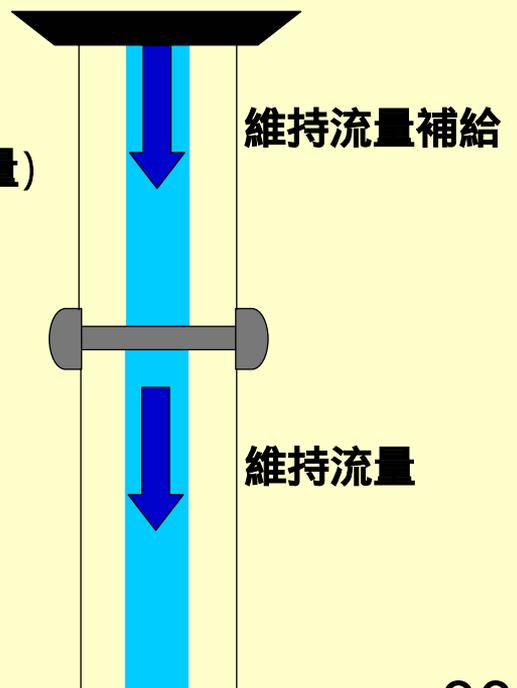
計画とする湧水において、ダムからの補給により、維持流量の確保が可能。

ダム補給の概念図

【ケース Ⅰ】



【ケース Ⅱ】



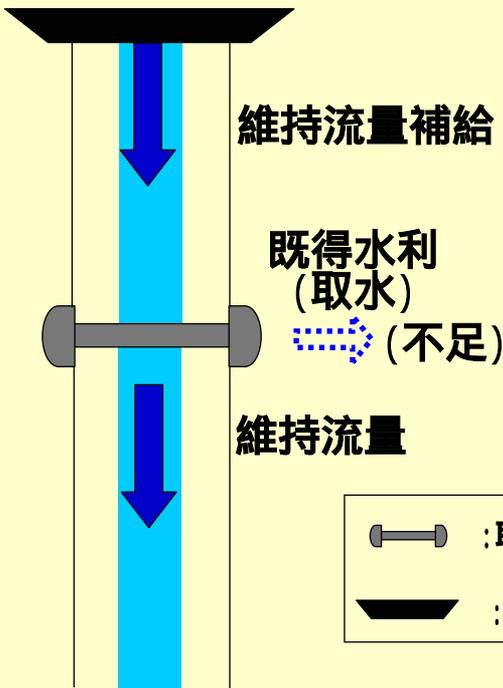
実態

・ケース :

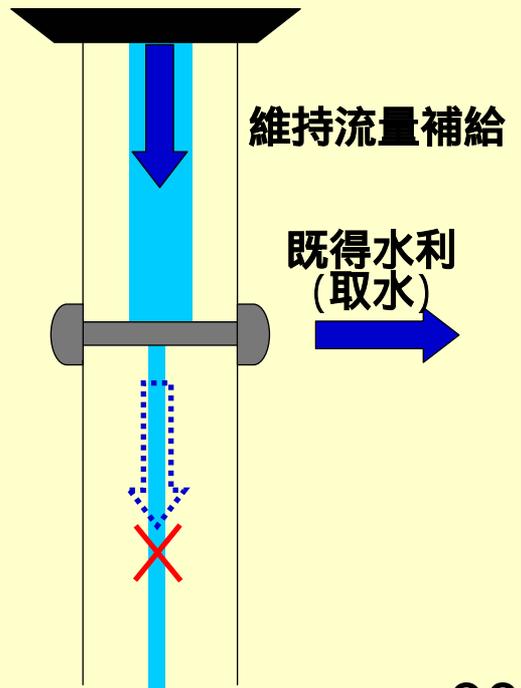
渇水時において、維持流量確保のためのダムからの補給量が、既得水利により先取りされる。

ダム補給の概念図(ケース の場合)

計画



実態



(2) ダム貯留による環境への影響

ダムによる補給方策(メリット)

方策	メリ ッ ト
ケース (正常流量補給)	渇水時に動植物・景観のための水環境改善が確実に図られる。 渇水時における既得水利への安定供給(確実な取水が可能) ダム湖の出現によるレクリエーション利用等の活用。
ケース (維持流量補給)	渇水時に動植物・景観のための水環境改善が図られる。 ダム湖の出現によるレクリエーション利用等の活用。 ケース に比べ、 ・ダム容量が小さくなる。 ・事業費が小さくなる。 ・水没面積が小さくなる。
ケース (補給なし)	ケース ・ に比べ、 ・ダム容量が小さくなる。 ・事業費が小さくなる。 ・水没面積が小さくなる。 土砂扞止がない。 維持管理が軽減される。

ダムによる補給方策(デメリット)

方策	デメリット
<p>ケース (正常流量補給)</p>	<p>貯留による水質の変化。 土砂を扞止する。 ケース ・ に比べ、 ・ダム容量が大きくなる。 ・事業費が大きくなる。 ・水没面積が大きくなる。</p>
<p>ケース (維持流量補給)</p>	<p>既得水利への改善は見込めない。 渇水時には既得水利取水により維持流量補給が不確実となる可能性大。 貯留による水質の変化。 土砂を扞止する。 ケース に比べ、 ・ダム容量が大きくなる。 ・事業費が大きくなる。 ・水没面積が大きくなる。</p>
<p>ケース (補給なし)</p>	<p>渇水時に動植物・景観のための水環境改善が図れない。 既得水利への改善は見込めない。</p>